

ゆいまーる にしはら わらびプラン 2015

※平成28年度実績について※

1 教育・保育・子育て施策の充実

- ①教育・保育の提供体制の確保 ⇒ 小規模保育事業(1園)の整備
- ②妊婦健康診査 ⇒ 公費で14回実施 実利用者数548人
- ③乳児家庭全戸訪問事業 ⇒ 訪問実績(318件)
(こんには赤ちゃん事業)
- ④延長保育事業 ⇒ 私立保育園9ヶ所、公立保育所1ヶ所で実施 利用者延べ人数(598人)
- ⑤預かり事業 ⇒ 公立幼稚園で実施 利用者延べ人数(45,357人)
- ⑥病児保育事業 ⇒ 利用者延べ人数(550人)
- ⑦放課後児童健全育成事業 ⇒ 新規の放課後児童クラブ1ヶ所開所
- ⑧ファミリーサポートセンター事業 ⇒ 利用者延べ人数(3,301人)
- ⑨地域子育て支援拠点事業 ⇒ 西原白百合保育園、さざなみ保育園分園内で実施 利用者延べ人数(3,300人)



2 母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進

- ①親子健康手帳の交付時の指導 ⇒ 妊娠健康診査の受診勧奨、食生活、妊娠中の過ごし方などマニュアルを作成して指導 親子健康手帳交付件数(326件)
- ②新生児訪問指導 ⇒ 訪問実績件数(318件)
- ③乳幼児健康診査の充実 ⇒ 乳児一般健診(受診率94.2%) 1歳6ヶ月健診(受診率92.9%)
3歳児健診(受診率89.8%)
- ④むし歯予防の充実 ⇒ 3歳児健診、2歳児歯科健診、1歳半健診で歯科健診を実施
(むし歯有病率 3歳児 23.7%、1歳半 2.6%)
- ⑤ベビースクールの充実 ⇒ 4ヶ月から6ヶ月児を対象にベビースクールを開催
開催回数(23回) 参加者数(209人)
- ⑥学校における食育の推進 ⇒ 食育SATシステムを利用し、食育事業を展開



3 子育てしやすい地域づくり

- ①児童館活動の充実 ⇒ マミーキッズや地域対象講座、巨大迷路等を実施
利用者延べ人数(48,285人、3館合計)
- ②子育て情報提供の充実 ⇒ 「子育てガイドブック」をこども課窓口にて配布、
子育てサイト「ゆいわらび」を開設
- ③家庭教育学級の推進 ⇒ 各小中学校PTAの役員を中心に、家庭教育学級を20回開催
参加者延べ人数(1,073人)



4 ワーク・ライフ・バランスの推進

- 少子化対策普及啓発の推進 ⇒ ポスター掲示や冊子・チラシ配布等の広報活動を実施

5 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

- ①要保護児童対策の充実 ⇒ 要保護児童対策地域協議会の事務局体制強化
- ②特別支援教育の充実 ⇒ 小学校へ10人、中学校へ3人の特別支援教育支援員を派遣

6 子ども等の安全の確保

- ①交通安全思想の普及啓発 ⇒ 年4回の交通安全推進運動等を実施
- ②夜間パトロールの推進 ⇒ 毎月第3金曜日に「少年を守る日」、夏休み期間の夜間巡回指導を実施
(夏休み夜間巡回指導実績):実施回数16回・参加者:561名

【お問い合わせ】 福祉部 こども課 幼稚園・こども園係 ☎945-5311



プロサッカーチームのサッカー教室

会や関係機関・団体との連携強化を図るとともに、広報紙やホームページなどを活用し、求人・求職者の登録を行い、新たな雇用創出の確保に努めます。

また、N₂SBP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)では、今年度も県内外において町産品の販売や広報活動を行います。本町の高校生が県外の高校生と交流し、町産品の販売活動を通して郷土に誇りを持ち、本町の将来を担う人材になるよう育成に努めます。

一括交付金を活用して整備した町民陸上競技場などには、プロサッカーチームなどのキャンプ誘致に取り組みます。また、観光マップや観光ポータルサイトなどを活用したPRや商工会及び関係団体と連携を図り、観光資源の発掘と活用、地場産品の開発に努めます。

中城湾港マリントウン地区への大型MICE施設建設計画を踏まえ、今年度も西原町・与那原町・中城村・北中城村で構成する「東海岸地域サランイズ推進協議会」と連携し、本町のさらなる活性化を推進します。

(6) 道路網及び排水施設の整備

道路網については、兼久安室線、呉屋安室線、東崎兼久線などの整備に取り組みます。また、橋梁などの老朽化対策として、北森川橋の橋梁長寿命化修繕事業に着手します。その他にも、安全で快適な住みよい生活環境整備のため、引き続き生活道路の修繕や排水整備に努めます。

国・県事業については、国道329号西原道路の早期事業化に向け、引き続き取り組むとともに、県道浦添西原線道路整備事業、県道那覇北中城線道路整備事業、小波津川河川改修事業などについて

でも、早期整備に向けて県と連携して取り組みます。

(7)都市基盤施設の整備

アメニティー豊かな都市空間の形成を確立するため、土地利用の誘導を図るとともに、引き続き市街地整備や道路、公園、下水道整備など、重点的に整備すべき施策を効果的・効果的に推進します。また、大型MICE施設周辺の土地利用見直しに向けて、面整備事業について検討します。

さらに、兼久マリントウン線沿線地区については、観光客や買い物客など様々な人々が行き交う空間として賑わいのある沿道利用型施設用地への用途地域の変更に取り組みます。

公園については、利用者の多い東崎公園、東崎都市緑地(イルカ公園)をはじめとする各公園施設などの遊具の安全点検及び維持管理に努めます。

西原西地区土地区画整理事業については、関係地権者の協力を得ながら建物などの物件補償や工事を行い、事業の進捗に努めます。

西原町都市計画マスタープランについては、土地利用構想などの全面改訂に向けて取り組みを進めます。

大型MICE施設建設事業

おわりに

平成30年度の各予算については、申し上げます。諸施策事業などを中心に編成し、(1)一般会計 11億5300万円 (2)国民健康保険特別会計 44億1176万7千円 (3)土地区画整理事業特別会計 1億725万4千円 (4)公共下水道事業特別会計 5億2272万円 (5)後期高齢者医療特別会計 2億6617万6千円 (6)水道事業会計 10億9171万5千円

以上、平成30年度の町政運営の基本姿勢及び主要施策の概要並びに予算案について申し上げますが、議員各位及び町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。平成30年度の施政方針と致します。

平成30年3月2日
西原町長 上間 明

財務状況把握ヒアリングの結果について

平成29年10月18日に沖縄総合事務局財務部による本町の財務状況把握ヒアリングが実施され、診断結果が提示されました。財務状況把握ヒアリングとは、財政融資資金(地方債)の貸し手である国(財務省)が、貸付先(地方公共団体)の償還確実性を確認する観点から、債務償還能力と資金繰りの状況を把握するために実施されるものです。

結果として、本町が厳しい財政状況であることが示されております。結果概要については、西原町ホームページ(トップページ→新着情報)をご覧ください。